

貧酸素水塊速報 (2014年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成26年7月28～29日観測結果

先週に比べ溶存酸素量1.0mL/L以下の貧酸素水塊の範囲は少し小さくなりましたが、依然として2.5mL/L以下の貧酸素水塊は内湾北部の広い範囲に分布しています(図1)。

縦断ラインの鉛直分布をみると、湾奥部を中心に海底から10m程度の厚みを持った貧酸素水塊が広がっています(図2)。貧酸素水塊の規模は、直近10年の平均並みです(図3)。

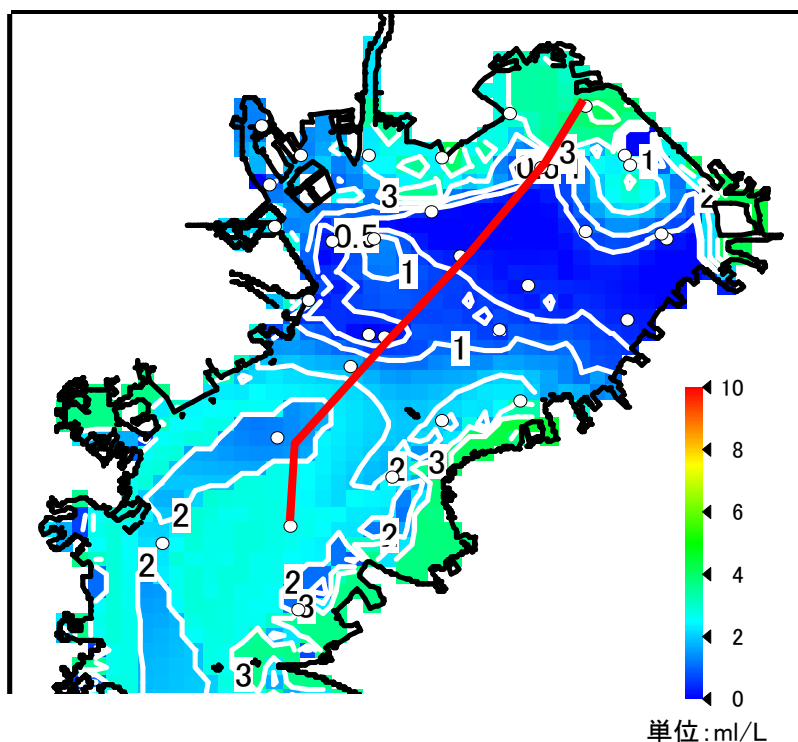


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

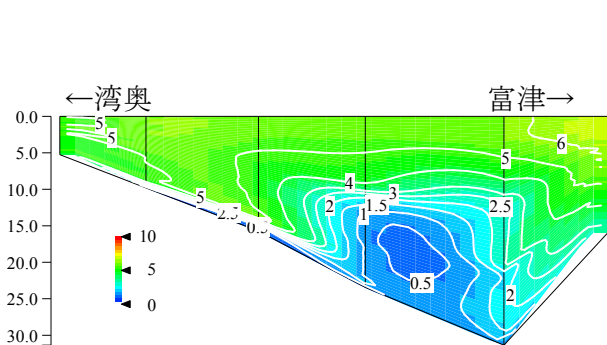


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

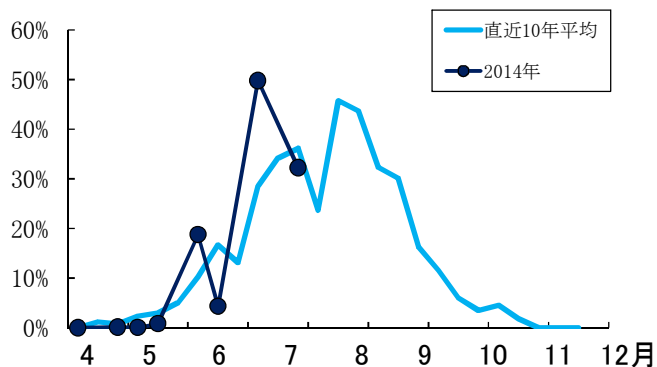


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)